

2018年8月8日

お客様各位

富士フイルム和光純薬株式会社
機器システム部

温湿度データロガー 製品変更/校正委託先変更と価格改定のお知らせ

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、温湿度データロガーの温湿度センサーICを新しいセンサーICに変更いたします。外装につきましても一新いたします。

また、温湿度データロガーの校正先を一般財団法人日本品質保証機構(以下 JQA)に変更させていただくこととなりました。これに伴い、発注方法や価格が変更となりますので、ご案内申し上げます。

大変ご面倒をお掛け致しますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

製品変更

【センサー変更】

温湿度を検知するセンサーICが生産中止となり、代替の新しいセンサーICに変更いたします。センサーそのものの性能として向上していますが、仕様の機能/性能は従来通りとなります。

【外装変更】



デザイン変更

変更時期：現在の在庫が無くなり次第、新センサー、新デザインの製品に切替。（2019年4月頃を予定）

校正委託先変更と価格改定

【変更理由】

試験所認定の国際規格 ISO17025:2005 が、2017 年 11 月に 2017 年度版 (ISO17025:2017) に改訂されました。それに伴い、現在の校正委託先より、『温湿度データロガーの校正に使用している機器が新しい ISO の規格に適合しないため、今後本製品の校正作業を辞退したい』旨の連絡があり、校正委託先を JQA に変更することとなりました。

【発注方法および価格】

基本パターン 1~9 の 1 つを選んでいただき、不足分の温度、湿度を追加、プラス往復送料が校正作業の価格となります。なお、この価格にはこれまでご提供しておりました「トレーサビリティ証明書およびトレーサビリティ体系図」が含まれておりません。これにつきましては、以下【トレーサビリティ証明書およびトレーサビリティ体系図について】をご参照いただき、ご理解いただきますようお願い致します。

基本パターン

パターン	温度	湿度	基本料金
1	20℃	不要 (50%選択)	¥37,500
2	20℃	20%、50%、80%	
3	20℃	30%、50%、80%	
4	23℃	不要 (50%選択)	
5	23℃	20%、50%、80%	
6	23℃	30%、50%、80%	
7	25℃	不要 (50%選択)	
8	25℃	20%、50%、80%	
9	25℃	30%、50%、80%	

不足分追加

範囲	1点あたり追加料金
温度-20℃~70℃の任意	¥10,000
湿度 20%~85%の任意	¥10,000

往復料金

範囲	料金
全国一律	¥2,860

※

- ・温度追加は、基本パターンでの測定を実施後、温度のみを変更して測定します。
- ・湿度追加は、基本パターンでの測定を実施後、湿度のみを変更して測定します。
- ・基本パターンにない温度と湿度の組合せでの結果が必要な場合、別途お問い合わせ下さい。

【価格の例】

1. 基本パターンだけの校正のとき

例) 25℃、50%の校正結果がほしいとき

$$\text{パターン 7or8or9} + \text{往復送料} = ¥37,500 + ¥2,860 = ¥40,360$$

2. 基本パターンにない温度で校正したいとき (湿度指定なし)

例) 4℃の校正結果がほしいとき (湿度不要)

$$\text{パターン 1~9 のどれか} + \text{4℃追加} + \text{往復送料} = ¥37,500 + ¥10,000 + ¥2,860 = ¥50,360$$

3. 基本パターンの温度で、湿度を追加したいとき

例) 25℃で 35%の校正結果がほしいとき

$$\text{パターン 7or8or9} + \text{35%追加} + \text{往復送料} = ¥37,500 + ¥10,000 + ¥2,860 = ¥50,360$$

【トレーサビリティ証明書およびトレーサビリティ体系図について】

JQAはISO/IEC17025に基づく校正機関の認定を受けており、その認定範囲で校正を実施するため、「A2LA」^(注1)のシンボル付き校正証明書が発行されます。このシンボル付き校正証明書は、トレーサビリティ体系図がなくても国家標準にトレーサブルであることを証明できるものとなっています(https://www.jqa.jp/service_list/measure/faq/qa.html#h)。

そのため、価格には「トレーサビリティ証明書およびトレーサビリティ体系図」を含んでいません。ご入用の際は、有償にてご提供させていただきます。

項目	1冊当たり
トレーサビリティ証明書 校正に使用した標準器の校正日や校正周期が必要な場合にご検討下さい。トレーサビリティ体系図と校正に使用した標準器の証明書写しが含まれます。	¥15,000
トレーサビリティ体系図	¥3,000

(注1) A2LAについて

A2LA（米国試験所認定協会）とは ISO/IEC 17025 を満たす校正機関などを認定する米国の試験所認定機関です。A2LAは1997年11月19日にAPLAC（アジア太平洋試験所認定機関協力機構）に、2000年11月2日にILAC（国際試験所認定機関協力機構）にそれぞれ署名しています。

以上

SAMPLE

JQA



総数 2 頁の 1 頁
証明書番号 〇〇〇-〇〇〇〇〇

校正証明書

依頼者	株式会社 〇〇〇〇
住所	〇〇県〇〇市〇〇町 1234 番地
品名	デジタル温湿度計
型式又は性能	〇〇〇〇
製造番号	〇〇〇〇
管理番号	〇〇〇〇
製造者	〇〇〇〇株式会社
校正項目	温度及び相対湿度
校正方法	JQA 校正要領書による(文書番号 E314650, E314648)
校正室の環境	次頁以降のとおり
校正年月日	〇年〇月〇日

校正結果は次頁以降のとおりであることを証明します。

〇年 〇月 〇日

東京都世田谷区砧一丁目21番25号
一般財団法人 日本品質保証機構
計量計測センター

所長 〇 〇 〇 〇

この証明書は、国内または海外の国家標準にトレーサブルな標準器により校正した結果を示すものです。書面による承認なしに、この証明書のカラーコピー及び一部分のみを複製して使用することを禁じます。日本品質保証機構 計量計測センターは、A2LA (American Association for Laboratory Accreditation) によってISO/IEC 17025-2005に基づく校正機関として認定されています。

校正結果

1) 温度

(単位: °C)

標準の値	温湿度計の指示値	校正の不確かさ
20.0	〇〇.〇	0.3

2) 相対湿度

(単位: %)

標準の値	温湿度計の指示値	校正の不確かさ
20.0	〇〇.〇	1.0
50.0	〇〇.〇	
80.0	〇〇.〇	

校正の実施条件:

- 1) 校正は、温湿度計のセンサを JIS B 7920 に記載された二圧力法の原理による標準湿度発生装置の試験槽に設置し実施した。
- 2) 湿度校正の基準となる湿潤空気の温度は、20 °C である。

校正室の環境: 温度 〇〇.〇 °C ~ 〇〇.〇 °C
湿度 〇〇 % ~ 〇〇 %
気圧 〇〇〇 hPa

校正に用いた標準器:

品名	型式又は性能	機器番号	製造者名
二圧力法湿度発生装置	MODEL-9000	9604146	TSC

校正の不確かさ: 校正の不確かさは、拡張不確かさであり、包含係数 $k=2$ で決定され、約 95 % の信頼の水準をもつと推定される区間を定める。

特記事項: なし

以上